

Windows Defender の誤検知による減価償却連動トラブルについて

セキュリティソフトの Microsoft Windows Defender を使用している環境で、同プログラムの誤検知により、減価償却 R4 Ver.19.1 のプログラムフォルダ内のファイルがトロイの木馬として隔離・削除されてしまい、法人税 R4 や財務 R4 の減価連動機能が実行できなくなる現象が確認されています。つきましては発生現象と回避方法についてご連絡します。

1. 発生現象

今まで正常に動作していた減価償却連動機能が実行できなくなった。

1-1. 法人税 R4 の発生事例

- ・メニューから「減価償却システムとの連動」を選択しても反応しない（データ選択画面が表示されない）。
- ・メニューから「減価償却システムとの連動」を選択後、データ選択画面で対象データを選択しても反応しない（連動対象選択画面が表示されない）。
- ・連動済みデータの別表十六の画面で[減価連動]をクリックしても反応しない（連動条件設定画面が表示されない）。

1-2. 財務 R4 の発生事例

- ・メニューから「減価償却データ取込」を選択し、実行すると、「減価償却連動データの出力に失敗しました」のエラーになる。

1-3. 所得税 R4 の発生事例

- ・青色申告決算書入力画面の[減価連動]より、データ選択画面で自動連動を指定し、対象データを選択すると「連動データを作成できませんでした。連動処理を中止します」のエラーになる。

2. 発生原因

他の R4 アプリケーションが減価償却連動処理を行うときに必要な、以下の減価償却 R4 Ver. 19.1 のプログラムフォルダ内のファイルを、Microsoft Windows Defender がトロイの木馬として誤検知したことが原因です（他責によるトラブル）。

減価償却連動実行時に「トロイの木馬を検出」や「Windows Defender ウイルス対策で脅威が見つかりました」といった内容のポップアップメッセージが表示されるケースも確認されています。

減価償却 R4（インターKX 減価償却 R4・減価償却顧問 R4）の場合

¥Program Files (x86) ¥EPSON¥R4¥genka_4¥Genka. R4IFRendoServer19. exe

減価償却応援 R4 の場合

¥Program Files (x86) ¥EPSON¥R4¥genkao_4¥Genka. R4IFRendoServer19. exe

（32 ビット OS の場合は、「¥Program Files ¥Epson・・・」に読み替えてください）

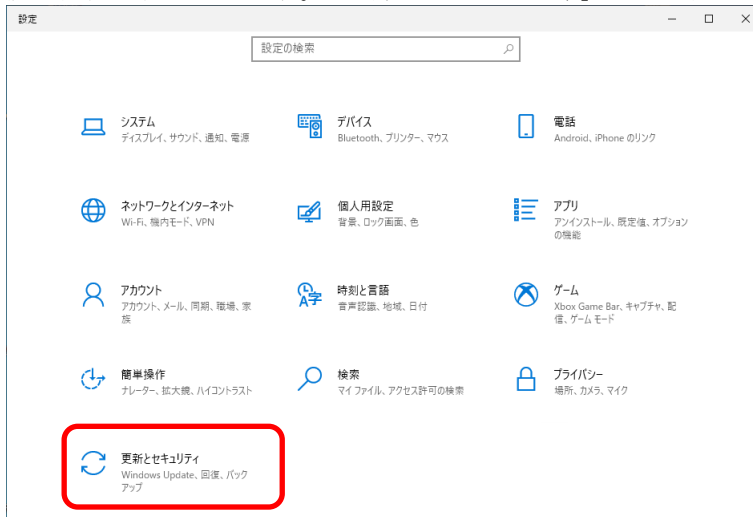
3. 回避方法

Windows Defender の設定画面を起動し、減価償却 R4 Ver. 19.1 のプログラムフォルダに対して例外設定を行ってください。

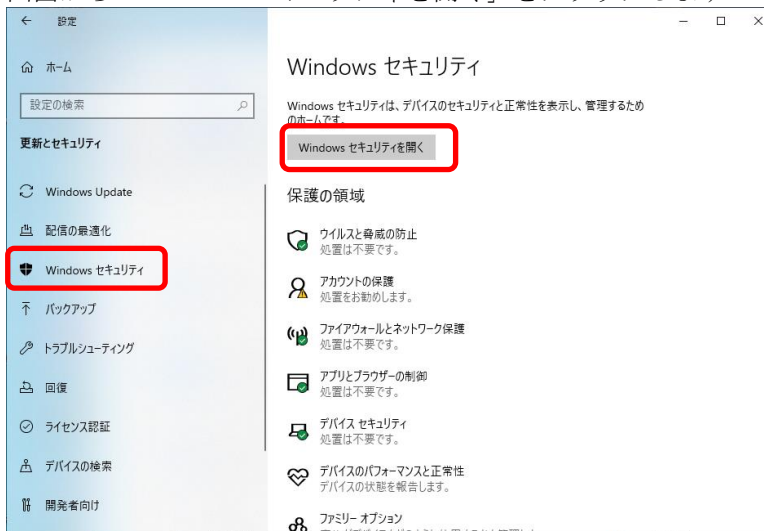
また、すでに前述の「Genka.R4IFRendoServer19.exe」ファイルが削除されている状態の場合は、続けて減価償却 R4 Ver. 19.1 を上書きセットアップしてください。

3-1. Windows 10 での設定方法

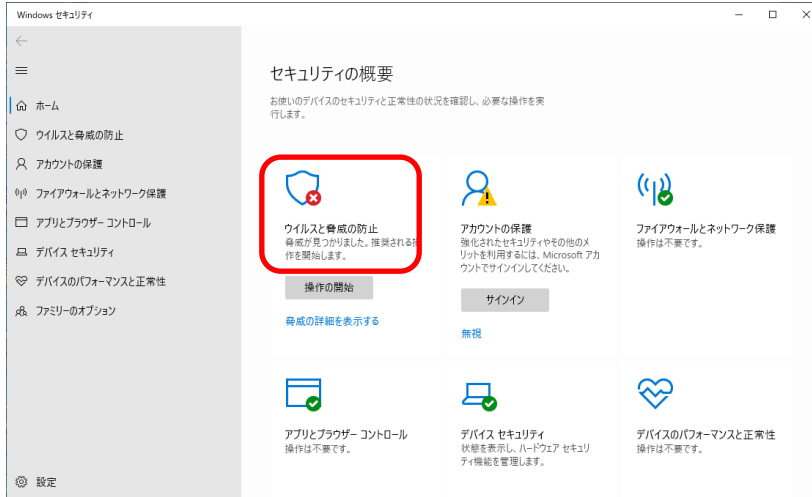
- ① Windows のスタートボタンをクリックし、メニューから「設定」を選択します。
- ② 設定画面が表示されます。「更新とセキュリティ」をクリックします。



- ③ 画面が切り替わります。画面左側の「Windows セキュリティ」をクリックし、表示された右側画面から「Windows セキュリティを開く」をクリックします



- ④ Windows セキュリティの画面が表示されます。「ウイルスと脅威の防止」をクリックします。



- ⑤ 画面が切り替わります。「ウイルスと脅威の防止の設定」欄の「設定の管理」をクリックします。



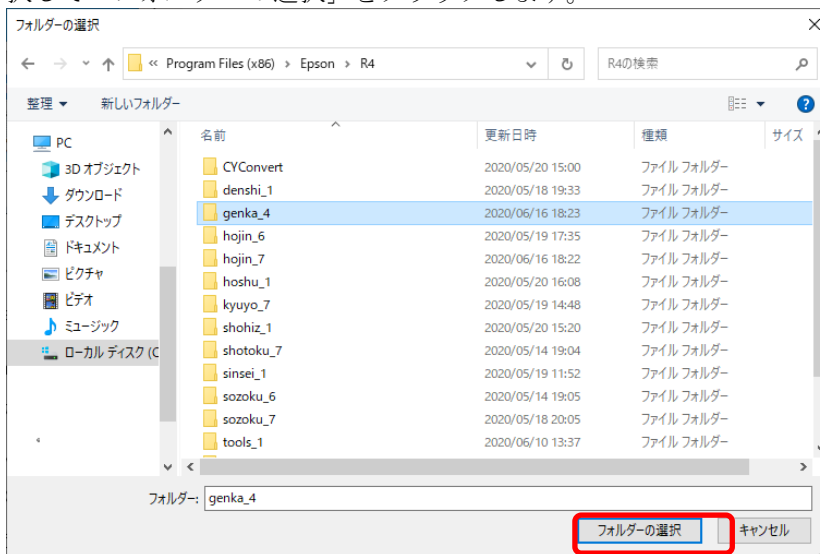
- ⑥ 画面が切り替わります。「除外」欄の「除外の追加または削除」をクリックします。



- ⑦ 画面が切り替わります。「除外の追加」をクリックし、表示されるリストから「フォルダー」を選択します。



- ⑧ フォルダーの選択画面が表示されます。次の減価償却 R4 Ver19.1 のプログラムフォルダを選択して「フォルダーの選択」をクリックします。



減価償却 R4（インターKX 減価償却 R4・減価償却顧問 R4）の場合

c:\Program Files (x86)\EPSON\R4\genka_4

減価償却応援 R4 の場合

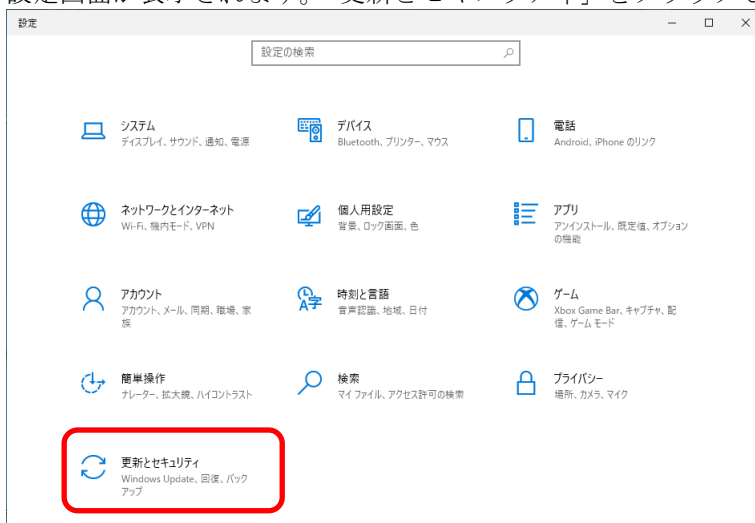
c:\Program Files (x86)\EPSON\R4\genkao_4

- ・32ビットOSの場合は「¥Program Files ¥Epson・・・」に読み替えてください。
- ・セットアップ先を初期値から変更している場合は、適宜に読み替えてください。

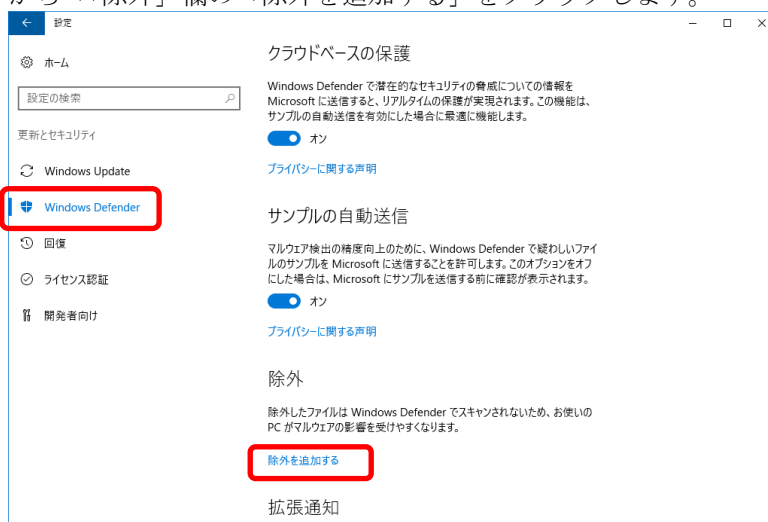
- ⑨ 法人税 R4 や財務 R4 等を起動して、減価連動機能が実行できるか確認してください。減価連動機能が実行できない場合（現象が回避されていない場合）、すでに前述の「Genka.R4IFRendoServer19.exe」ファイルが削除されています。続けて減価償却 R4 Ver. 19.1 を上書きセットアップしてください。セットアップ後は再度減価連動機能が実行できるか確認してください。

3-2. Windows Server 2016 での設定方法

- ① Windows のスタートボタンをクリックし、メニューから「設定」を選択します。
- ② 設定画面が表示されます。「更新とセキュリティ」をクリックします。



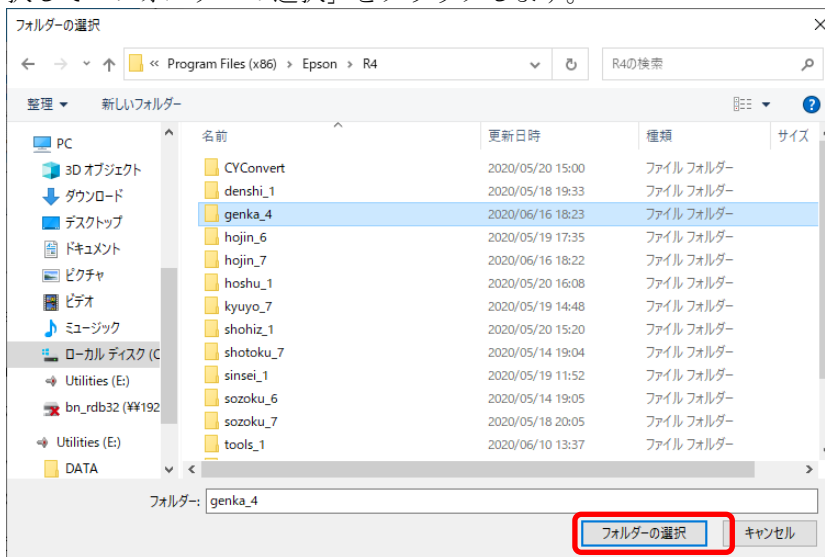
- ③ 画面が切り替わります。画面左側の「Windows Defender」をクリックし、表示された右側画面から「除外」欄の「除外を追加する」をクリックします。



- ④ 画面が切り替わります。「ファイルおよびフォルダー」欄の「フォルダーを追加する」をクリックします。



- ⑤ フォルダの選択画面が表示されます。次の減価償却 R4 Ver19.1 のプログラムフォルダを選択して「フォルダの選択」をクリックします。



減価償却 R4（インターKX 減価償却 R4・減価償却顧問 R4）の場合

c:\Program Files (x86)\EPSON\R4\genka_4

減価償却応援 R4 の場合

c:\Program Files (x86)\EPSON\R4\genkao_4

- ・セットアップ先を初期値から変更している場合は、適宜に読み替えてください。

- ⑥ 法人税 R4 や財務 R4 等を起動して、減価連動機能が実行できるか確認してください。減価連動機能が実行できない場合（現象が回避されていない場合）、すでに前述の「Genka.R4IFRendoServer19.exe」ファイルが削除されています。続けて減価償却 R4 Ver. 19.1 を上書きセットアップしてください。セットアップ後は再度減価連動機能が実行できるか確認してください。

以上、よろしくお願いいたします。